

カンナビノイドの科学

The Science of Cannabinoids



大麻の医療・福祉・産業への利用



佐藤 均 (昭和大学薬学部教授) [監修] 日本臨床カンナビノイド学会 [編]

定価=本体3000円+税 A5判/並製/224ページ
ISBN 978-4-8067-1501-6 C0047

築地書館

カンナビノイドとは、大麻草に含まれる104種類の生理活性物質である。

本書では、カンナビノイドを、植物学、薬理学、医科学、海外事例、法制度、教育、社会経済的な影響など、さまざまな観点から考察し、海外ではすでに医薬品やハーブ(薬草)として使用されているこの物質の、老人退行性疾患・難病・精神疾患治療への有効性を解説する

主な目次

- 第1章 カンナビノイドの基礎
- 第2章 アサに含まれる植物性カンナビノイド
- 第3章 アサは太古からの薬草
- 第4章 人体にあるエンド・カンナビノイド・システム
- 第5章 驚くべき適応疾患の多様性
- 第6章 カンナビノイド医薬品の研究開発
- 第7章 カンナビノイドの安全性と副作用
- 第8章 カンナビノイドの利用
- 第9章 カンナビノイドと法律の壁
- 第10章 カンナビノイドと薬物教育
- 第11章 カンナビノイドで健康長寿社会へ

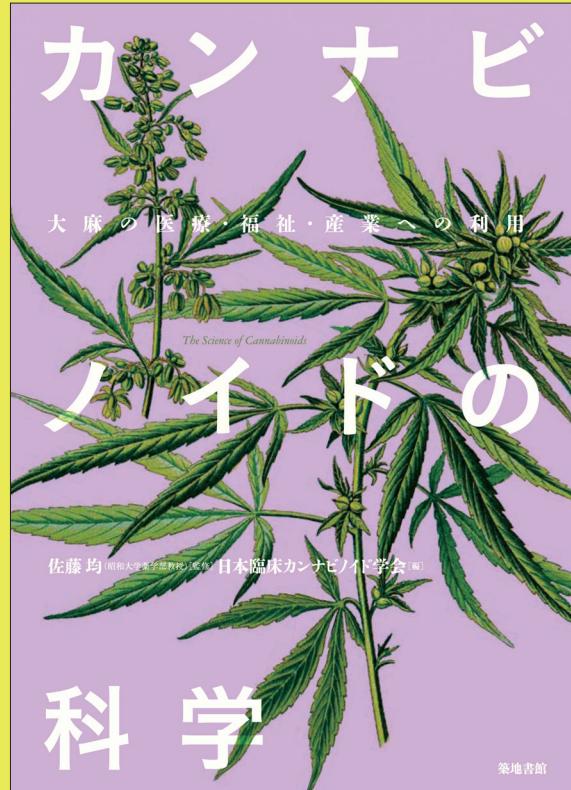
編者紹介

日本臨床カンナビノイド学会 (JCAC)
(Japanese Clinical Association of Cannabinoids)

世界で注目され研究が進むカンナビノイドについて日本で研究を進めていくために、医療従事者を対象として、2015年9月に設立。現行法上の制限があるため、CBDに関する臨床研究および機能性食品としての評価からスタートする。

今後は日本国内でのカンナビノイドの研究者および関心のある医療従事者と連携して、特区制度を利用した臨床研究を計画している。

カンナビノイドの普及および研究に関心のある医師、歯科医師、薬剤師、看護師、研究者など医療従事者の入会を受け付けている。



日本臨床カンナビノイド学会事務局

〒142-8555

東京都品川区旗の台1-5-8

昭和大学薬学部 薬物療法学講座 薬物動態学教室内

Web:<http://cannabis.umin.jp/>

E-mail: jcac-office@umin.ac.jp